



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム
オンライン招へい（ブラジルグループ）の記録
テーマ：外交と日本文化

1. 概要

【目的】 日本の政治や国会の制度について理解を深め、日本の行政機能について知ること、我が国の中南米に対する外交政策や日本事情に対する理解を促進し、日本と中南米の絆を深める事、また我が国の外交基盤を拡充する事を主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】 ブラジルの社会人 計 4 名

【訪問地】 東京都、愛知県、北海道、宮城県

【日程】

日時 (日本時間) 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前プログラム		
2021 年 3 月から 本プログラム終了まで	【動画視聴】 1. 事前オリエンテーション 2. 南三陸町からのメッセージ	事前プログラム開催期間前から日本や事前プログラムに関する動画を配信されており、参加者は動画を視聴してから事前プログラムに参加しました。
2021 年 3 月 30 日 (火) 9:00～9:45 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 「日本における中南米外交」 講師：外務省中南米局中米カリブ課長 正本 謙一氏 1. 講義 2. 質問への回答	参加者からは「日本と中南米地域の友情の絆について考える機会となった」等の声があがり、今後のプログラムへの意欲を新たにしました。
2021 年 4 月 13 日 (火) 9:00～11:00 愛知県	【在名古屋ブラジル総領事館・日系人交流】 1. 在名古屋ブラジル総領事館 ネイ・フトゥロ ・ピテンクール総領事より挨拶 2. 愛知県概要紹介	在名古屋ブラジル総領事館をはじめ、日系人行政書士、ブラジルに関心のある日本の大学生らとのオンライン交流を通じて、県内に暮らすブラジル人に対する行政サポートや日系人の活躍、現在のブラジル人の生活や仕事について理解を深めました。

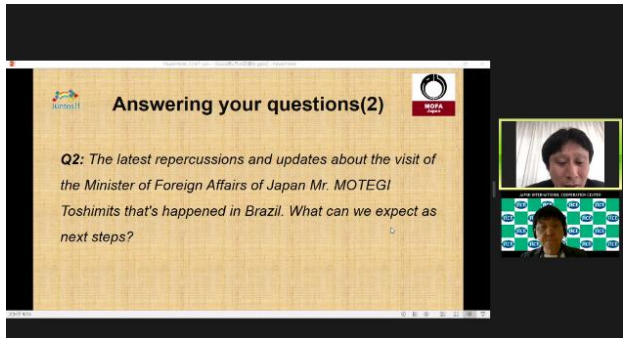
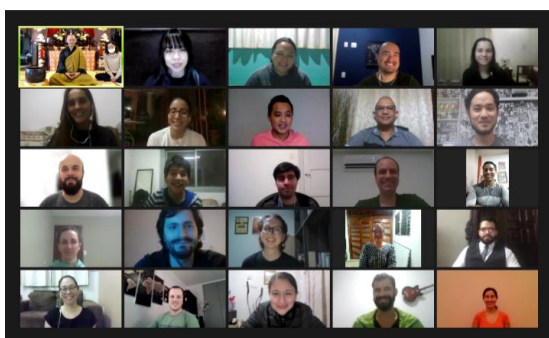
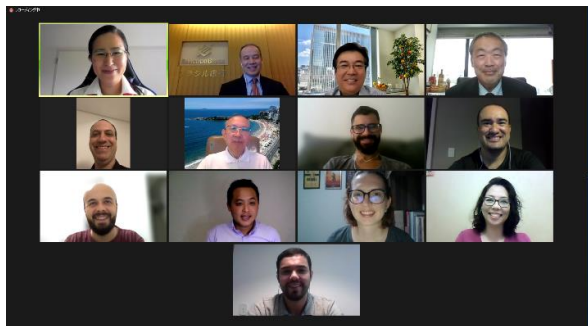
	3. 講義 「中部地区に定住するブラジル人の抱える問題と行政の取り組み」 講師：行政書士 渡辺 マルセロ氏 4. 将来を担う日本の若者（南山大学 外国語学部の学生たち）と日伯について Q&A セッション	
2021 年 5 月 11 日（火） 9:00～10:00 北海道	【日本文化体験】坐禅体験 1. 「峯光寺」の紹介、小野隆見副住職の挨拶 2. 仏教や坐禅についてのお話し 3. 坐禅の方法についての説明・実演 4. 参加者の坐禅体験 5. 質疑応答・感想	住職の身に着けている装束に意味があるかといった質問や、坐禅体験は美しく、日本の文化をより深く知る機会になったといった声が多数ありました。
2021 年 5 月 20 日（木） 9:00～10:30 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 【意見交換会】 視察先：在日ブラジル商工会議所 1. 在日ブラジル商工会議所より事業概要及び参加者の紹介 2. 日本で活躍するビジネスマン 3 名より講演（ブラジル銀行、日本フルーツジュース株式会社、株式会社イマイ） 3. 関係者との意見交換会 4. 各グループの意見発表	日本でビジネス展開をする上で必要なことや、日本製品・ブラジル製品の輸出入について、コロナ禍での企業のあるべき姿について等、質問が多数あがりました。
2021 年 5 月 27 日（木） 9:00～10:45 宮城県 南三陸町	【南三陸町（被災地交流）】 1. 講師紹介 2. 南三陸町観光協会による南三陸町概要・被災当時の状況についての説明 3. 講師との意見交換会 4. 感想共有	「被災して、家も友人や家族も何もかもが無くなり、地域から離れ、投げ出したくならなかったのか」といった質問や「『まずは自分の身を守る』という教訓は、自分をはじめ家族や周りの人々、コミュニティを助けることを知って、非常に印象深かった」といった感想があがりました。
事前プログラム 終了後から本プログラム終了まで（6 月から 8 月までの間に公開）	【動画視聴】 1. 日本理解講義 2. ホームビジット体験 3. 日本文化理解（京都） 4. 広島ピースツアー 5. 愛知の魅力～産業、最先端技術～	事前プログラム開催期間終了後から本プログラム開始前までに日本やプログラムに関する動画を配信し、参加者は動画を視聴してから本プログラムに参加しました。

本プログラム		
2022 年 3 月 2 日（水） 9:00～10:30 東京都	【オリエンテーション】 【アイスブレイク】 【参加者意見交換】	全体説明後にはグループごとに参加者同士の自己紹介の場が設けられ、参加の動機や日本との関りなど意見交換をしました。
2022 年 3 月 4 日（金） 9:00～11:30 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 国会議事堂バーチャルツアー 講師：ミキキートス ツアーガイド 庭野 大地氏	国会議事堂の歴史や建築についての解説のほか、日本の議会制度についても知ることができ、日本の政治政党の数や現在の総理大臣の所属政党、また日本の選挙制度、投票率、選挙運動や政党活動のルールなどについて質問が出されました。また日本が電子投票を取り入れずいまだ紙への記名式で行っていることなどにも関心が寄せられました。
2022 年 3 月 10 日（木） 9:00～11:30 東京都	【ワークショップ・日本人学生との交流】 1. プレゼンテーションの発表 「日本の魅力や強み、身近にある中南米とのつながり」 2. 感想発表、意見交換 【参加者間意見交換】 アクション・プラン発表準備	日本の大学生と活発な意見交換をしました。ブラジルの寿司と日本の寿司の違いや、日本で人気のあるブラジルの音楽、日本語として定着したポルトガル語の言葉など話題は多岐にわたっていました。
2022 年 3 月 11 日（金） 9:00～10:40 東京都	【ウェビナー・質疑応答、交流】 1. 開会 2. 講義（浮世絵実演、工房見学、浮世絵作品紹介） 「レクチャー『江戸木版画』」 講師：株式会社高橋工房 代表取締役 高橋 由貴子氏 3. グループディスカッション 4. 質疑応答 5. まとめ、講評	工房内の摺師の作業工程及び作品への関心が高く、画面にくぎ付けでした。グループ鑑賞時は、1つの絵に対して、各自思い思いの意見を述べながら芸術鑑賞を楽しみました。
2022 年 3 月 14 日（月） 9:00～11:00 東京都	【ワークショップ】 【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評 外務省中南米局中米カリブ課主査	プログラム参加後 3 か月以内に実施するアクション・プランについてグループごとに発表しました。日系社会グループのスペイン語圏とポルトガル語圏の各グループ、太平洋同盟

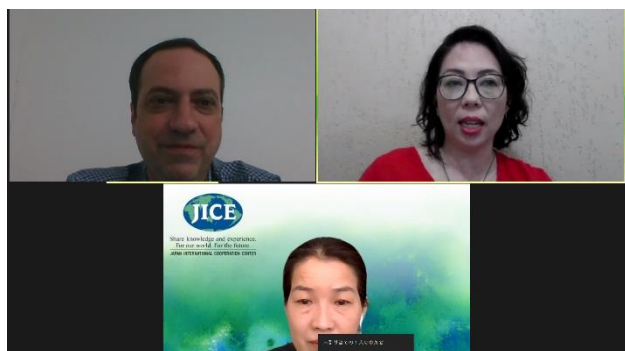
	吉崎 茉耶氏	グループ、ブラジルグループの計4グループの合同報告会となりました。 ブラジルグループからは今後も学術界で日本や日伯関係について発信していきたい旨発表がありました。
--	--------	--

2. 記録写真

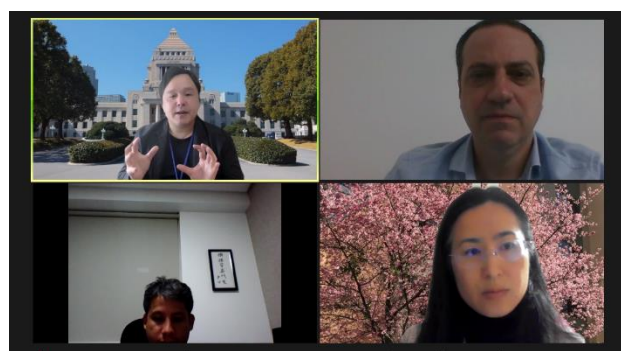
事前プログラム

	
2021 年 3 月 30 日【ウェビナー・質疑応答】 質疑応答の様子	2021 年 4 月 13 日【在名古屋ブラジル総領事館・ 日系人交流】愛知県の事業概要を聞く参加者
	
2021 年 4 月 13 日【在名古屋ブラジル総領事館・ 日系人交流】記念写真を撮影する様子	2021 年 5 月 11 日【日本文化体験】 座禅体験の講師と記念撮影をする様子
	
2021 年 5 月 20 日【ウェビナー・質疑応答】 在日ブラジル商工会議所による講義及び意見交換会後の記念撮影	2021 年 5 月 27 日【南三陸町（被災地交流）】 講師との意見交換会

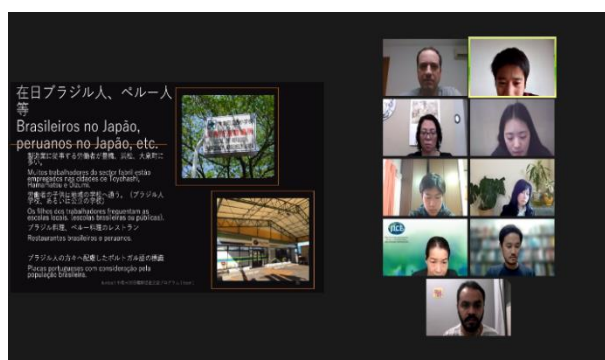
本プログラム



2022 年 3 月 2 日【オリエンテーション】
グループに分かれて自己紹介をする参加者



2022 年 3 月 4 日【ウェビナー・質疑応答】
講師の説明を聞く参加者



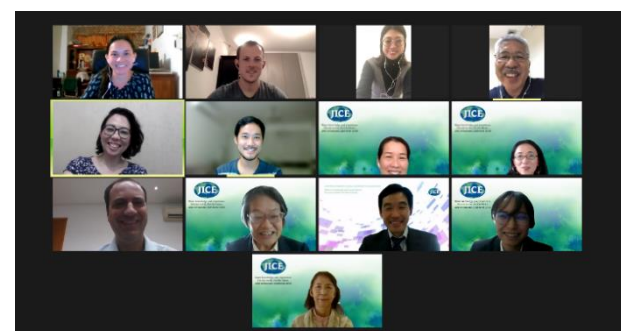
2022 年 3 月 10 日【ワークショップ・参加者間
交流】
派遣プログラムの学生の発表を聞く参加者



2022 年 3 月 11 日【日本文化体験】
浮世絵「神奈川冲浪裏」摺り作業のバーチャル
ツアーの様子



2022 年 3 月 11 日【ウェビナー・質疑応答、交
流】浮世絵工房の講師と記念撮影をする様子



2022 年 3 月 14 日【報告会】
アクション・プランの発表を終えての記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加社会人

オンラインプレプログラムで日本についてもっと学び、ブラジルの伝統的なメディアで正確な情報を発信できるようになることを大いに期待しています。

◆ 参加社会人

このプログラムは、日本についてより多くの側面を知るために非常に重要なものとなっています。さらに、日本に関する他の研究者や日本好きの人々とのつながりもできました。

◆ 参加社会人

今日のプログラムは、注目すべきものでした。2011年の津波を経験した方々に、信じられないようなことが起こったというお話を伺いました。特に語り部の意志の強さ、決断力から多くを学びました。絶対に忘れません。

◆ 参加社会人

とてもよく企画運営されたプログラムでした。テーマも興味深く、技術的にも時間厳守で通信も良好でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 在日ブラジル商工会議所

参加人数が少なかったことから個別の話し合いができました。

◆ 一般社団法人 南三陸町観光協会

甚大な災害であった東日本大震災について、事後の住民の心情や復興へ向けての活動についてなど、短時間ではありましたが伝えることができたと思います。

◆ 交流先学生

中南米を知る良い機会になりました。また、それらの国の現状や社会情勢についても知ることができたので、個人的に興味のある国については後日勉強してみたいと思っています。

◆ 協力団体担当者

浮世絵を題材にしたグループディスカッションでは、日本人の私たちでは気づかないような視点を知ることができてとても感心しました。また、参加者の皆さんが積極的に講師とコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。

5. 参加者の対外発信、報道記事

APRENDENDO INOVAÇÃO COM QUEM É REFERÊNCIA NO ASSUNTO!

Como presidente da Comissão de Ciência e Tecnologia, nada melhor do que buscar boas práticas com a maior referência que há: o Japão.

Hoje, participei do primeiro encontro online do JUNTOS! - Programa de Intercâmbio entre Japão, América Latina e Caribe, desenvolvido pelo Ministério das Relações Exteriores do Japão, para o qual fui selecionado pela embaixada no Brasil.

Oportunidade única para aprender mais sobre a economia, política e relações diplomáticas entre nós e esse gigante em tecnologia, como também para participar ativamente da troca de ideias.

Ainda esse ano - se a pandemia permitir -, teremos encontros presenciais no Japão. O trabalho não para, e a busca por novidades para o Rio também não. Pra cima! 🇧🇷🇯🇵



Prazer poder participar do Programa #Juntos!! Muito inspirador aprender mais sobre a história de resiliência e superação de Minamisanriku depois do Tsunami de 2011. Cooperação 🇧🇷🇯🇵

Abaixo fotos da devastação do tsunami e da reconstrução.

#JICE #Juntos!!



2021 年 3 月 30 日 (Facebook)

その分野のリファレンスからイノベーションを学んでいます！

科学技術委員会の委員長として、日本という最大の参考文献に良い事例を求めることに越したことはありません。

外務省が推進する「新型コロナウイルス感染症の影響のため中南米対日理解促進交流プログラム」に、在ブラジル大使館から選拔され、本日、「Juntos!!」の第 1 回オンラインミーティングに参加させていただきました。

この技術大国との経済、政治、外交関係をより深く知ることができ、また積極的に意見交換を行うことができるまたとない機会です。

今年の後半には、パンデミックに負けず劣らず、日本で直接ミーティングを行う予定です。仕事は止まりませんし、リオの新しいものを探すのも止まりません。上を目指しましょう！

2021 年 5 月 27 日 (Twitter)

#Juntos!! プログラムに参加できて光栄です。

2011 年の津波の後の南三陸町の復興と克服の物語を知ることができ、とても感動しました。

ブラジルと日本、協力しましょう！ 以下は、津波の被害と復興の写真です。



2022 年 3 月 8 日 (Facebook)

「Juntos!!」交流プログラムの参加者として日本の国会議事堂のバーチャルツアー（新型コロナウイルス感染症の影響のため）に参加しました。



2022 年 3 月 11 日 (Facebook)

「Juntos!!」交流プログラムの参加者として浮世絵（日本の版画）工房のバーチャルツアー（新型コロナウイルス感染症の影響のため）に参加しました。

HOME > 休職レポート > 「Juntos!!中米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

■ 2021年6月14日

「Juntos!!中米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

■実施概要

【団体】 外務省が推進し、JICE（一般財団法人日本国際協力センター）が実施する「Juntos!!中米対日理解促進交流プログラム」参加者の皆様
【日時】 2021年5月27日 9:00~10:45
【人数】 47名

■Juntos!!リアルタイム交流会の様子

南三陸町では、日本国内にかかわらず、海外の方々とも交流を行い、多くの縁を繋いできました。

今回、一般財団法人日本国際協力センター（以下JICE）様主催の下、中米にお住まいの方々と南三陸町の復興の担い手たちが、ZOOMを使ったリアルタイム交流会を行いました。

初めに一般財団法人南三陸町観光協会事務局長の及川より、南三陸町の概要をご説明しました。英語に翻訳したデータや写真を共有し、南三陸町の震災時の状況や復興の様子をお伝えしました。



その後、10グループに分かれて交流を行いました。今回、南三陸町の講師として参加されたのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている10名の方々。講師の方から、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいたり、意見交換に入りました。

2021 年 6 月 14 日 南三陸町観光協会

（中略）JICE 様主催の交流会に参加された方々は、中米で行政や教育、報道に携わる方々です。そのため、南三陸町での防災対策や行政の取り組みに対して、自分の国にはどう生かせるか、という視点でお話を聞いている様子でした。

震災当時、南三陸副町長を務めていた遠藤健治さんのグループでは、防災についての意見交換が行われました。町の職員として被災者の対応や復旧に携わってきた遠藤さん。南三陸町は1960年のチリ地震の津波を経験したことから、行政はかなり高い水準の防災対策を講じてきたそうです。しかし、東日本大震災では、想定していた高さをはるかに越える津波がきたことから、自然災害というのは予想外のことが起きるものなのだと感じた、と語りました。

その話を受けて、「コスタリカでも津波が起きることがある。津波が起きた時のために、行政

	が働きかけられることはなんだろうか」という質問が出ました。それに対し遠藤さんは、ハザードマップなどを用いてエリアの災害リスクを市民へ周知することが大切だ、と答えます。行政の力では防げないことも多くあり、行政が被災することもある、住民全員が自分の住んでいる災害リスクを把握し、自分の命は自分で守るように意識を持つことが大切だと、遠藤さんは感じたそうです。 他にも質問は、「防災メッセージを普及するためにどのような技術を使用しているか」など具体的な分野に及び、時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。 参加した方からは、「被災地の方々の経験を聞いてとても感動し、多くのモチベーションを得ることができた」「コロナ禍のために対面での交流はできなかったが、震災後、生きている人たちとつながり、お互いの体験を語るだけで、団結する力や絆が強まり、共感する心が生まれるものだと感じた」等の感想をいただきました。
--	---

6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

Team B （グループの活動計画）	
	■ 実施理由： 学術の世界では日本に関するテーマはまだあまり取り上げられていません。日本の歴史、文化、外交についても、今日のブラジルではあまり取り上げられることが無いため実施します。 ■ 実施時期： プログラム終了後 3 か月以内にアクション・プランの実施を始め、年内いっぱい続ける予定です。 ■ 実施する者： プログラム参加者 2 名が現地の日本政府関係機関とペルナンブコ連邦大学アジア研究所の支援で行います。 ■ ターゲット： 大学生その他の学術関係者及び一般の人 ■ 実施計画： 授業、講演、記事などを通じて日本文化の特徴と外交、ポップカルチャーなどについて紹介します。またブラジルと日本の親しさを強調するため二つの国の共通点について扱うのも重要だと考えています。 ■ 実施方法： 授業や講演には財団、研究グループ、領事館、関心のある人々などと事前に準備を行います。そこから対象者を決め、期待される内容に応じて活動を準備します。記事については新聞やインターネットに掲載します。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)